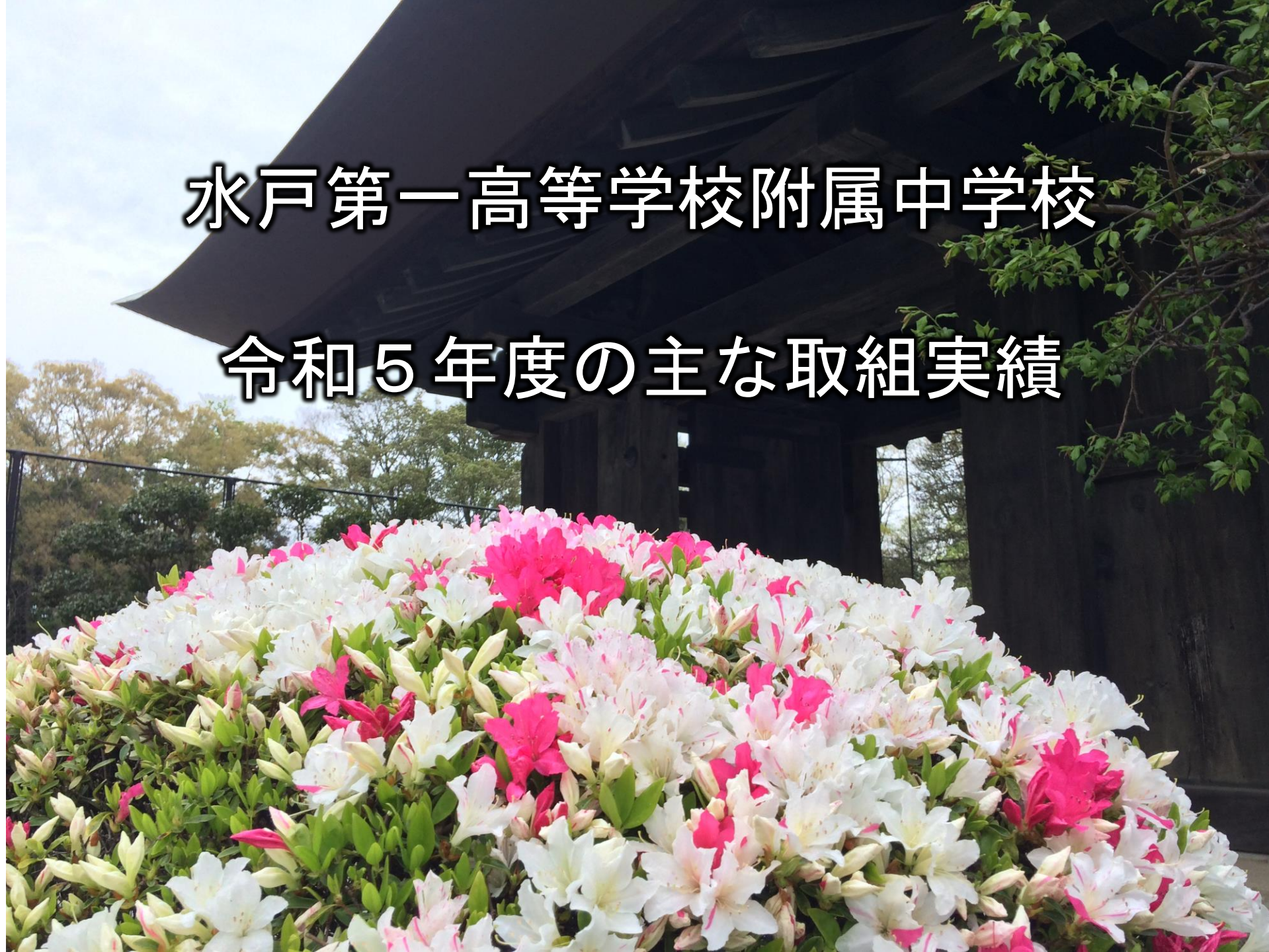


水戸第一高等学校附属中学校

令和5年度の主な取組実績



中高合同での特色ある教育プロジェクト

事業名	概要・備考
文理・融合講座 (高1・中3)	融合・横断的な内容を含め、トップレベルの研究者から最先端の学術知を教授いただくことにより、文理分けの弊害を乗り越え、生徒の知的好奇心や課題発見・解決能力等を育むとともに、自分にあった進路選択やキャリア形成に資する。 → 東大6名、京大8名など20名もの教授陣が、メタバース、デジタル人文学、睡眠科学、生命倫理等の講義を実施 10月20日・11月2日
米中派遣プログラム (高1・中3：希望者)	世界の二大大国である米中両国に生徒を派遣し、トップレベルの大学や産業、文化等に直に触れさせることにより、国際感覚やコミュニケーション能力等を育み、グローバルに活躍するリーダー育成に資する。派遣生徒は、英語試験(TOEFL JR)のスコアを中心に選考し、経済的困難を抱えつつも選考試験で優秀な成績を収めた者には、卒業生団体(知道会)の支援金を重点的に支給する。 →2024年2月25日～2月29日(中：台湾) 3月3日～9日(米：サンフランシスコ) に各40名の生徒を派遣
東大探訪 (高1・中3)	東京大学に足を運び、大学教授からの特別講義、本校出身の学生との座談会、キャンパスの視察等を行うことにより、高い意識を持って学問に励み、希望進路を叶える一助とする。→講義：石井和之教授、座談会・キャンパス案内：東大生17名 8月6日
探究力向上セミナー (高2・中2)	問いの立て方や、リサーチ、執筆、プレゼンテーションのコツなど、実践的な知的生産の技術について、大学等の専門家から学ぶことにより、生徒の探究力を高める。→上野千鶴子先生(東大名誉教授) 7月6日、宮野公樹(京大准教授)9月14日
知道プロジェクト発表会 (全学年：特に高2)	総合の時間等において進めてきた課題研究の集大成として、事前に校内で選ばれた高2生がプレゼンやポスター発表を実施し、中高全体の探究活動の活性化に資する。→2024年2月23日、ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールで開催。講評：川越至桜(東大准教授)
キャリア探究対話 (高2・中2)	様々な分野における社会のトップランナーをゲストに迎え、キャリア形成への道のりや仕事の醍醐味等について生徒と対話を行っていただき、生徒のキャリア形成やリーダーシップ育成に資する。 →会社を上場させた起業家、教育系YouTuber、自動車会社経営者、弁護士・元検事など12名のゲストを迎え12月14日に実施
GRITセミナー (高3・中1)	非認知能力やメンタルヘルス等の専門家を迎えて実践的なレクチャーを行い、生徒のGRIT(Guts Resilience Initiative Tenacityの略：やりぬく力)を高める。 →小澤竹俊先生(ホスピス医) 5月9日、鈴木規子先生(日本保健医療大学教授)12月1日
心に火をつけるフォーラム (全)	世界で活躍されているトップリーダーを講師に迎えてご講演いただき、困難な課題への挑戦心を育むなど、生徒の心に火をつける。 →ムハマド・ユヌス博士(2006年ノーベル平和賞受賞者・バングラデシュ)7月4日。他に「高校創立145周年・中学完成記念講演会」として、建築界のノーベル賞と称されるプリツカー賞を受賞された妹島和世先生の講演会を11月22日の創立記念日に開催。
パブリックリーダースクール (全：希望者)	社会的課題の解決に向け第一線で活躍している方々からの講義や、政治・行政の中核である永田町・霞が関への訪問を行うことにより、SDGsを始めとする社会的課題や公的機関への理解を深めるとともに、公共の精神を備えたリーダーの育成を図る。 →グローバルリーダー講座(国連、WHO、WFP、UNHCRなど国際機関・NGO関係の講師による講演) 8月2日・4日 永田町・霞が関探訪(国会での模擬法案審議、農水省、法務省、厚労省、経産省、領土・主権展示館訪問) 8月3日

文理・融合講座（高１・中３）

第１回(2023.10.20)講師一覧

東京大学情報基盤センター	雨宮 智浩 教授	メタバースとリアリティ
東京大学人文社会系研究科	大向 一輝 准教授	デジタル人文学で読む人間文化
東北大学災害科学国際研究所	栗山 進一 所長	災害科学における学際研究の現在 ～特に医学的な側面から～
大阪大学蛋白質研究所	篠原 彰 教授	ゲノム・遺伝子が生み出す ヒトの多様性と可能性
京都大学人間・環境学研究科・総合人間学部	萩生 翔大 准教授	運動を科学する ～日常から宇宙への挑戦まで～
京都大学人間・環境学研究科・総合人間学部	日置 尋久 教授	情報の秘匿方法?...暗号ですね？
京都大学人間・環境学研究科・総合人間学部	廣戸 聡 准教授	目で見えない小さな世界 ～分子の形を操る ～色素の科学～
京都大学人間・環境学研究科・総合人間学部	廣野 由美子 教授	文学作品を深く読むこと ～イギリス小説『フランケンシュタイン』 の語りの方を中心に～
京都大学人間・環境学研究科・総合人間学部	藤田 健一 教授	持続可能な社会へ向かって － 水素社会と触媒技術 －
慶應義塾大学経済学部	藤原グレーヴァ香子 教授	ゲーム理論入門
京都大学人間・環境学研究科・総合人間学部	細見 和之 教授	ひとつの歌から考える世界の歴史 —あるいは果肉と種子の関係について—

文理・融合講座（高1・中3）

第2回(2023.11.2)講師一覧

京都大学人間・環境学研究科・総合人間学部	石村 豊穂 准教授	「寄り道を極める： 化石と魚と社会と地球環境，たまにダイオウイカ」
東京大学工学系研究科	熊田 亜紀子 副研究科長	次世代電力システム構築に向けて
一橋大学ソーシャル・データサイエンス学部	櫛 惇志 准教授	AI・データサイエンスの最新動向
早稲田大学法学学術院・法学部	肥塚肇雄 教授	デジタル社会と法の役割
日本大学文理学部	土屋 弥生 教授	身体と教育の現象学
東京大学新領域創成科学研究科	二瓶 美里 准教授	私たちの未来を作ろう：生活支援工学の役割と使命
東京大学理学系研究科 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構	林 悠 教授	脳科学最前線 ～レム睡眠・夢・記憶～
京都大学iPS細胞研究所	藤田 みさお 教授	いっしょに考えよう！ iPS細胞と生命倫理 —どこまで進めていいの？—
東京大学社会科学研究所	藤原 翔 准教授	社会調査データから格差・不平等を読み解く

米中派遣（高1・中3）

高1と中3で合同の試験（英語民間試験。受験料は知道会の支援で無償化）を課し、派遣生徒を選抜。
今年度は、台湾に高1から26名・中3から14名、米国に高1から34名・中3から6名を派遣。
中3は、高校進学後の来年度もチャンスがあり、シンガポールを含め、高1までに最大3か国で研鑽可能。



旧帝国大学の一つである台湾大学にて



半導体世界最大手TSMC社の博物館にて



サンフランシスコ講和条約締結の地にて

充実した教授陣による派遣前研修

台湾 2023.11.11



台湾の教育制度	山崎直也（帝京大学外国語教授）
台湾の産業	國府俊一郎（大東文化大学経営学部教授）
台湾近現代史	洪郁如（一橋大学大学院社会学研究科教授、台湾大学出身）

米国 2023.11.25

倉林活夫（ニューヨーク大学機械・航空工学部長、スタンフォード大学博士）

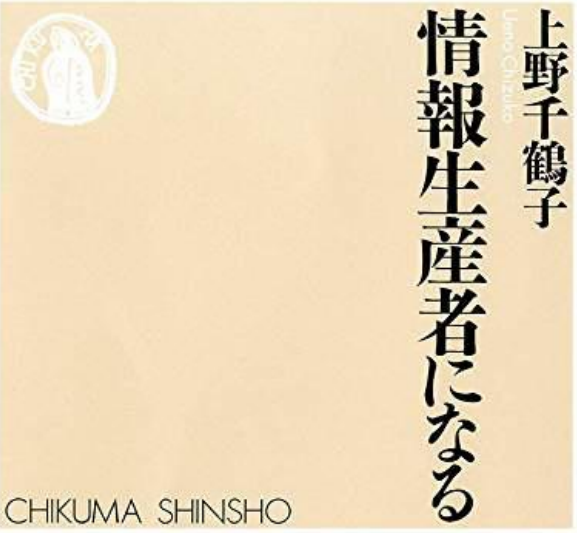
探究力向上セミナー(高2・中2)

第1回 2023.7.6

上野千鶴子先生(東大名誉教授)

第2回 2023.9.14

宮野 公樹先生(京大准教授)



CHIKUMA SHINSHO

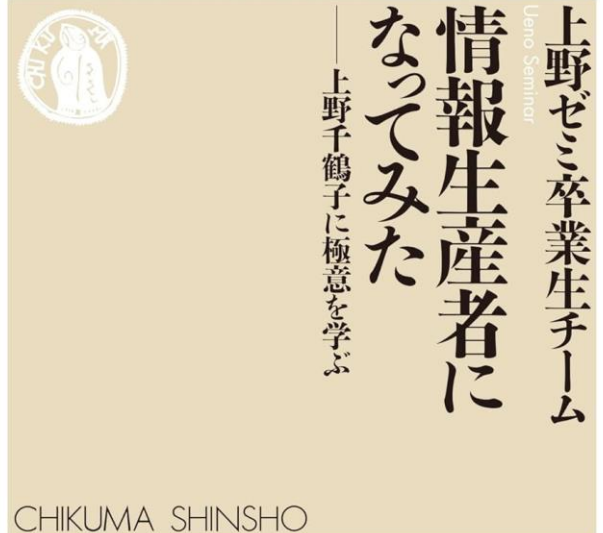
東大生の多くが学んだ

知的生産の教科書

膨大な情報のなかで、オリジナルにこそ意味がある！
「新たな知」をいかに発想し、いかに「アウトプット」するか——

裏面も読める

数々の人材を輩出した
東大上野ゼミ
だれでもわかる
メソッド公開



CHIKUMA SHINSHO

大滝世津子
開沼博
坂爪真吾
竹内慶至
中野円佳
中村かさね

「芸を身に付けてください。そうして社会のノイズになってください。そうやって上野ゼミのDNAがつながっていくでしょう。」

—上野千鶴子

ちくま新書

筑摩書房 定価968円(10%税込)



CHIKUMA SHINSHO

……ロジカルを良しとするのも、ロジカルが良いという考えあつてのこと。なぜロジカルであつたりエビデンスベースであつたりすれば我々は正しいと思つたり、納得できると思つたりするのか。ほんとうの「いい問い」を考えるにあつては、そもそも論の果てまで考える必要があると思うのです。

ちくま新書 1551



キャリア探究対話(高2・中2) 2023.12.14 講師

【自動車】茨城トヨタ自動車社長 幡谷史朗

【IT・起業】FCE Holdings 社長 石川淳悦

【研究】東京医科歯科大学教授 樗木俊聡

【教育】教育系 YouTuber 葉一

【コンサル】野村総合研究所コンサルティング本部エキスパート 丸健一

【メディア】NHK 総務局ファシリティマネジメントセンター 飯田暁子
NHK 水戸放送局ディレクター 鬼澤昌秀

【金融】常陽銀行コンサルティング営業部調査役 宮澤恵太 細谷幸永

【法務】弁護士・元検事 高橋麻理

【公務】水戸市デジタルイノベーション課デジタルまちづくり係長 平戸正英
水戸市人事課人材育成係主幹 白土由梨



視聴登録者200万人の教育YouTuber
葉一さん

GRITセミナー(高3・中1)

GRIT (Guts Resilience Initiative Tenacityの略。やり抜く力) を高めるため、心理的に不安定になりがちな高3・中1の生徒に対し、非認知能力・心理学・メンタルヘルス等の専門家を講師に迎えて開催。

第1回：2023.5.9

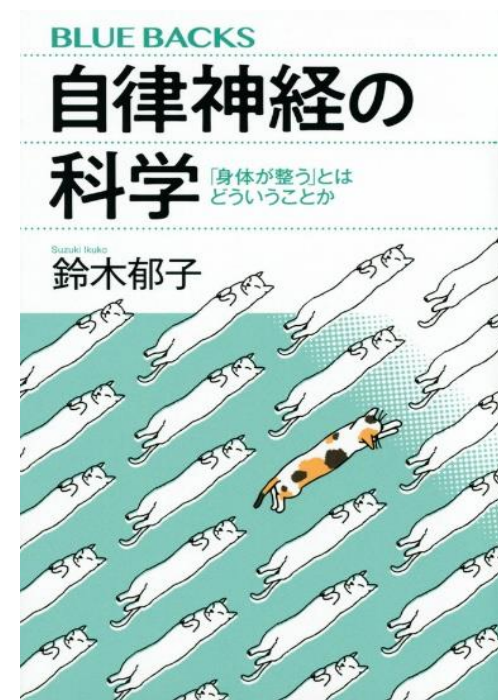
小澤竹俊先生

(医師・約3800人を看取った緩和ケアの第一人者。
NHKプロフェッショナル仕事の流儀でも紹介)

第2回：2023.12.1

鈴木郁子先生

(日本保健医療大教授・自律神経研究の第一人者)



心に火をつけるフォーラム 2023.7.12



ノーベル平和賞(2006)
受賞者
ムハマド・ユヌス博士
(バングラデシュ)

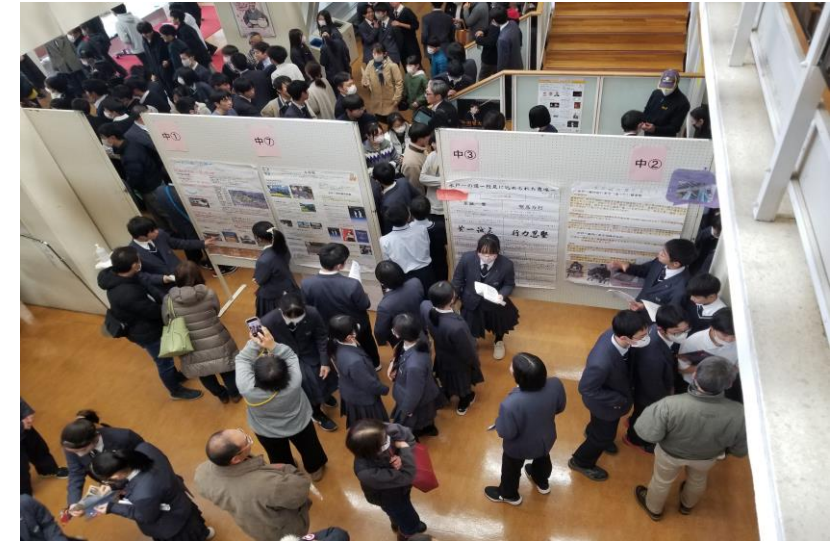
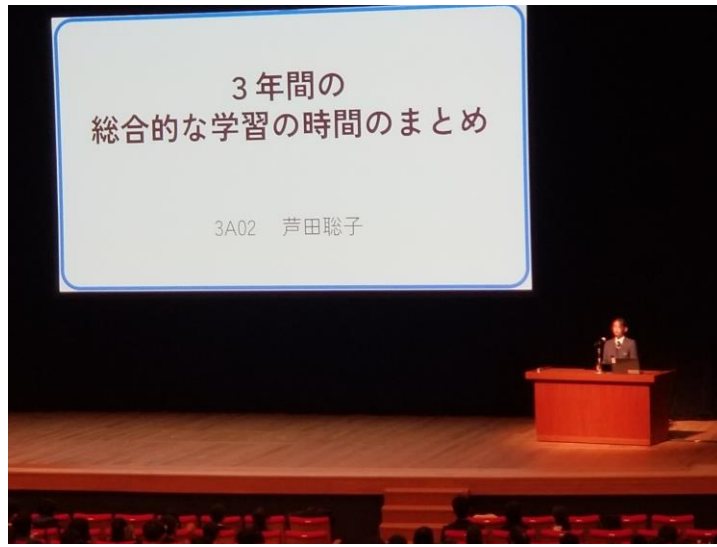
「自分の目の前にいた、たった一人の困っている人を助けたかっただけなのです。彼女が貧困から抜けだすためにはどうしたらいいのか。1970年代後半、バングラデシュには高金利の銀行しかなく、貧困のためにお金を借りると、もっとひどい状態になるという問題がありました。しかたなく自分のポケットマネーを貸しました。ポケットマネーだからとても少額。でも、彼女は とても喜んでくれて、貸した私もハッピーになりました。すぐに村中で話題となって、人気になってしまいました。とても私一人でお貸しすることはできない。そこで、私は銀行を作りました。最初はその村で。それはすぐに村外、国中へと広がり、結果的には世界に広がりました。私は次のことを学びました。**大きな課題の解決には、まず自分のまわりの小さなことから始めることが大事だ**ということ。最初は1人、2人という規模でよいのです」

「失敗と成功は真逆のように思われますが、現実的にはそうではありません。**失敗と成功はコインの表と裏のようなもの**。とても近くにある。失敗を恐れなくてください。失敗は人生においてとても大事なものです。**失敗は失望ではなく学習です。失敗と成功を重ねながら、前に進むのです**」

「人類にとって不可能はありません。これは何億年もかけて証明されてきました。人類は、海の向こうに行きたいと思い、海に出ることができた。空を飛びたいと思って、空を飛べた。月に行きたいと思って、月に行けた。星に行きたいと願って、星に行こうとしている。最初のワンステップは『行きたい』と想像したこと。**人類に不可能はないと信じてください**」

知道プロジェクト発表会

2月23日（金・祝）にヒロサワ・シティ会館にて、課題研究の成果を発表する「知道プロジェクト発表会」を中高合同で開催。高2のクラス代表者の発表に加え、中学生も3年生と1年生が発表。講評者の東大の川越至桜先生からは、発表の内容や態度等について、高い評価をいただいた。



パブリックリーダーズスクール 2023

8月2日（水）

9:00～10:00 国際連合

富田 敬子（茨城県教育委員、常磐大学学長）

水戸二高卒。米国ジョージタウン大学大学院に留学中、国連競争試験に合格、ニューヨークの国連本部にて長年活躍されました。

趣味はチェロで、国連交響楽団に所属。現在は、故郷に戻られ、常磐大学の学長や茨城県教育委員を務められています。「男女平等参画社会づくり功労賞」などを受賞されています。

10:20～11:20 WFP（世界食糧計画）

間辺 初夏（国連WFP協会マネージャー企業・団体連携チームマネージャー）

WFPは、飢餓ない世界を目指して活動する国連機関です。2030年までに食品ロスを半減させることを目標にしています。

講師の間辺さんは、アメリカ・フロリダのディズニーワールドで勤務後、様々な国際機関で活躍されてきました。広報や活動資金集め（ファンドレイジング）のプロです。

11:40～12:40 WHO（世界保健機構）

中村 安秀（日本WHO協会理事長、大阪大学医学部名誉教授）

WHOは、全ての人々が可能な最高の健康水準に到達することを目的として設立された国連機関で、コロナ対策でも注目されました。

講師の中村先生は、東京大学医学部卒の小児科医です。アフガニスタンなど途上国の保健医療活動に長年取り組まれてきました。

大阪大学教授、世界小児科学会（IPA）常任委員、国際ボランティア学会会長、国際母子手帳委員会代表など歴任。母子手帳を海外に広めた功績で2015年、医療功労賞を受賞されました。

8月4日（金）

9：00～10：00 WaterAid

高橋 郁（ウォーターエイドジャパン事務局長）

WaterAidは、安全な水やトイレの確保など水問題に取り組む国際非営利団体（NGO）です。1981年に英国で創設され、現在では34か国に拠点があります。

講師の高橋さんは、英国で開発学を学んだ後、2013年に設立されたWaterAid Japan を率いるリーダーとして活躍されています。

10：20～11:20 World Vision

松本 謡子（ワールド・ビジョン・ジャパン グローバル教育担当）

ワールド・ビジョンは、貧困や紛争、自然災害等により困難な状況で生きる子どもたちのために活動する世界最大級の国際非営利団体（NGO）であり、世界約100カ国に拠点があります。

講師の松本さんは、教育担当として、支援の中で出会った子どもたちのリアルな声をお伝えする授業を全国の学校で実施されています。

11:40～12：40 UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）

天沼 耕平（国連UNHCR協会 難民高等教育プログラム担当）

UNHCRは、紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援する国連機関であり、ノーベル平和賞を2回受賞しています。

講師の天沼さんは、東京学芸大学卒業後、淑徳中学高等学校において社会科教員として勤務され、現在は、難民の方々が日本の大学に就学できるよう支援を行っています。

永田町・霞が関探訪 8月3日（木） バス1台（中1～高2の生徒42名+校長はじめ引率3名）

7:20 水戸駅南口発 9:50 霞が関着

10:00～11:00 主権・領土展示館（政府施設）

（国際関係、特に近隣諸国との関係を理解する上で不可欠な主権・領土問題について学習）

11:00～11:50 農林水産省内見学・職員食堂で昼食（国産食材）

11:50～13:00 霞が関の省庁内部見学（こども霞が関見学デー）

（厚生労働省、法務省、経済産業省）

13:30～15:30 国会内見学・立法体験特別プログラム

（衛視の案内により国会内を巡るとともに、審議に使われる部屋で立法過程を実地に体験）

15:40 バスで国会発 → 18:00 水戸駅南口着



足すと4になる中高の学年による「+4学年活動」

高3 + 中1

- ・ 最高 & 最小学年の組み合わせ。
- ・ 高3が学業・行事・部活をやり抜く姿に中1が学び、校風として継承。高3が身を正す契機にも。

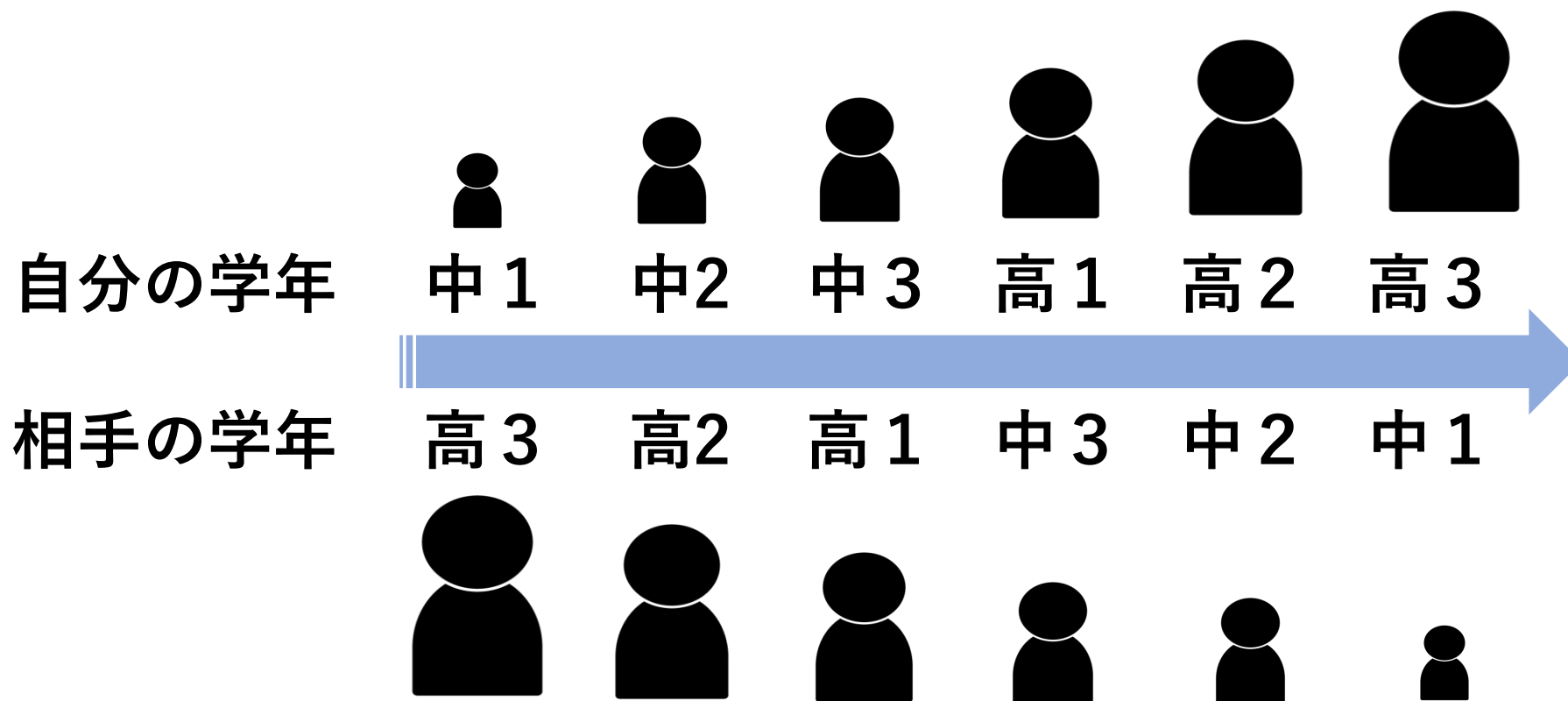
高2 + 中2

- ・ 中高それぞれの中心となるべき中間（ミドル）学年の組み合わせ。
- ・ 中だるみを排し、学問や自己への探究を深めるとともに、次年度最高学年を迎えるに当たり自覚を高める。

高1 + 中3

- ・ 中高にまたがった隣接学年の組み合わせ。
- ・ 発達段階の近さを活かし、多様な活動を協働して行いつつ、文理・進路選択に向けて視野を広げる。

+ 4 学年活動の流れ

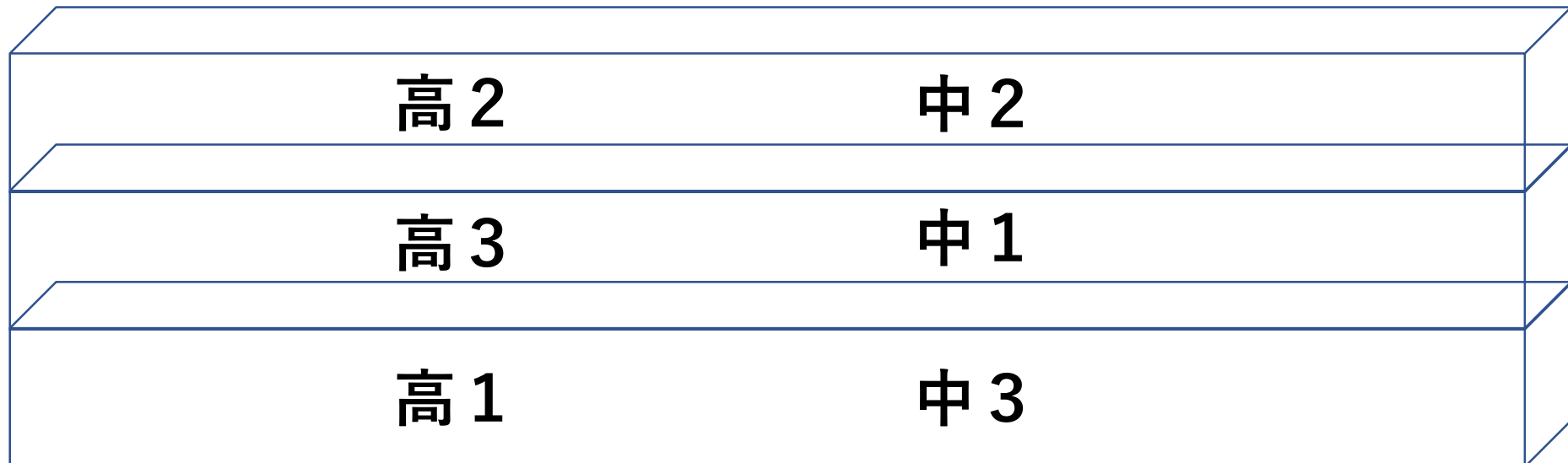


- 6年間または3年間で毎年異なる中高の全学年と交流
- 自分が大きくなるにつれ、相手は小さくなる中、リーダーとして年々成長
- 毎年異なる学年との組み合わせで、多様な刺激を創出

+ 4 学年活動の具体例

高1 & 中3 : 文理・融合講座、米中派遣、東大探訪
高2 & 中2 : キャリア探究対話、探究力向上セミナー
高3 & 中1 : GRITセミナー

校舎のフロアも + 4 学年で配置。日常的な交流を促進。



校内ガイドツアー 「水戸ーの道」

入学したばかりの中1では、自らの足元（水戸城址の歴史や地理、自然、文化等）について探究活動を行います（**ルーツ探究**）。

その成果をもとに、地域の方や観光客、卒業生、他校の生徒等に対し、**校内ガイドツアー「水戸ーの道」**を**水戸市とも連携**して開始しました。

今年度は、学苑祭にて実施し「中学生大賞」を受賞するとともに、秋の学校公開や「知道会のつどい」の開催時、水戸の梅まつりの時期にも実施し、多くの方々をご案内しました。



学苑祭にて「中学生大賞」を受賞



建築分野のノーベル賞「プリツカー賞」
受賞の妹島和世さんと